

2020.6.25

地方企業による副業関連の募集掲載数が 3.9 倍に ウォンテッドリー、仕事の動向に関する調査結果を発表

Wantedly の個人ユーザーはコロナショックの影響をほとんど受けずにアクティブという結果に



ビジネス SNS 「Wantedly」を運営するウォンテッドリー株式会社（代表取締役 CEO・仲暁子）は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた緊急事態宣言前の 2020 年 1 月から 5 月までの Wantedly における仕事の動向に関する調査結果を発表します。

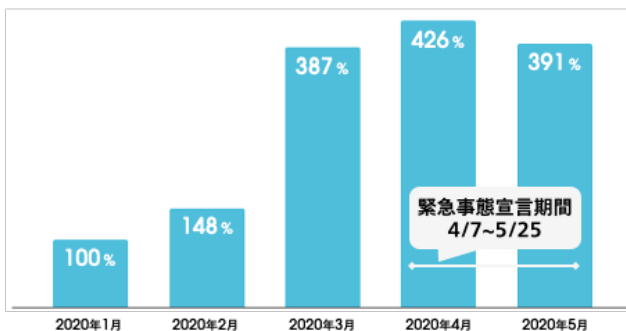
地方×副業の募集掲載、エントリー数の伸びが顕著という結果に

Wantedly にて掲載されている募集や、エントリーされている募集を集計したところ、2020 年 1 月と 5 月の数値を比較すると、特に地方企業による副業関連の募集掲載数が約 3.9 倍、エントリー数が約 2.2 倍と、顕著な伸びが見られました。全国の副業関連エントリー数は 2020 年 1 月と 5 月の数値比較で約 1.3 倍という結果に。

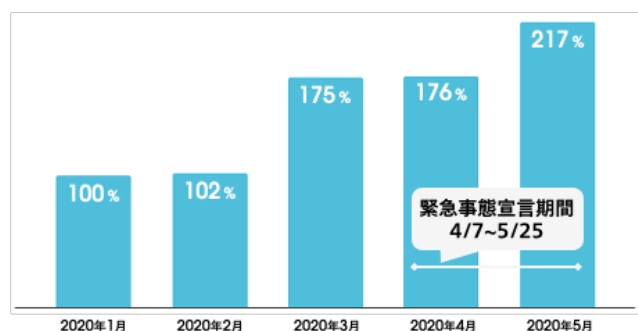
※東京・神奈川・埼玉・千葉以外の住所を登録しているの企業を地方企業と定義

※本文中に「副業」や「複業」といったキーワードが含まれる募集を副業関連の募集と定義

地方企業による副業関連募集の月次掲載数推移



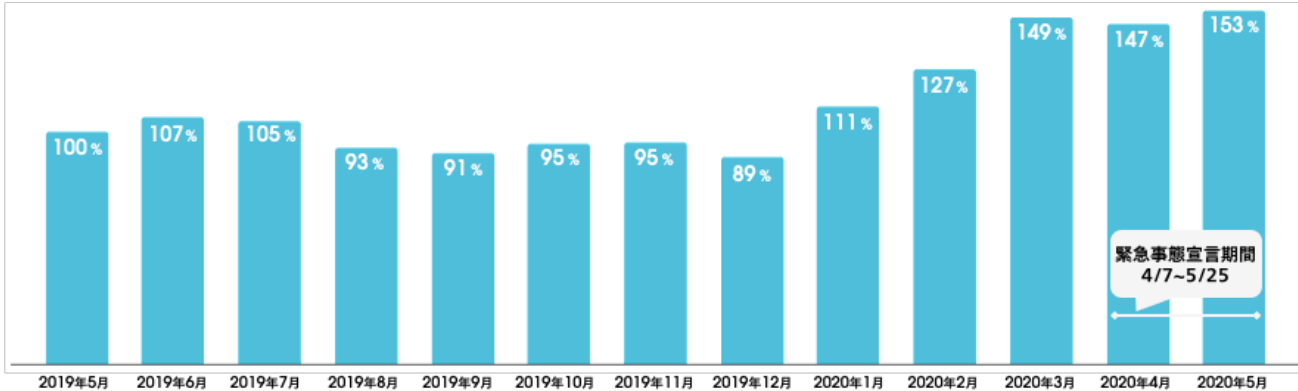
地方企業による副業関連募集への月次エントリー数推移



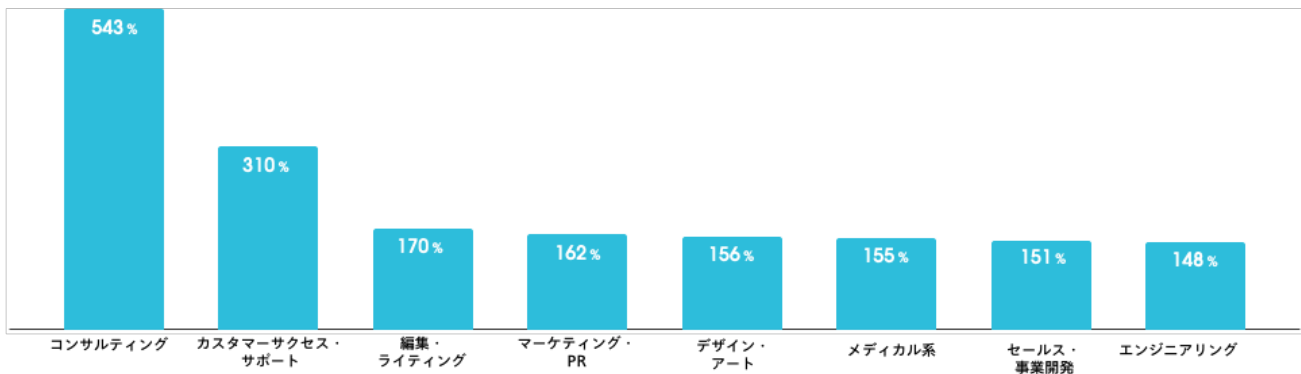
個人ユーザーへのコロナ影響は少ないという結果に

Wantedly における個人ユーザー側のトレンドについて、月次のエントリー数、ユーザー登録数や、ダイレクトスカウトに対する平均返信率を調査したところ、新型コロナウイルス感染拡大によりアクティブさが減少するという傾向は確認されず、5月の月次エントリー数に関しては緊急事態宣言前の1月次と比較し、約1.4倍という結果に。また職種別の5月次のエントリー数の推移を見ると同年1月比でコンサルティング系が543%、カスタマーサクセス・サポートが310%と大きな伸びが見られました。

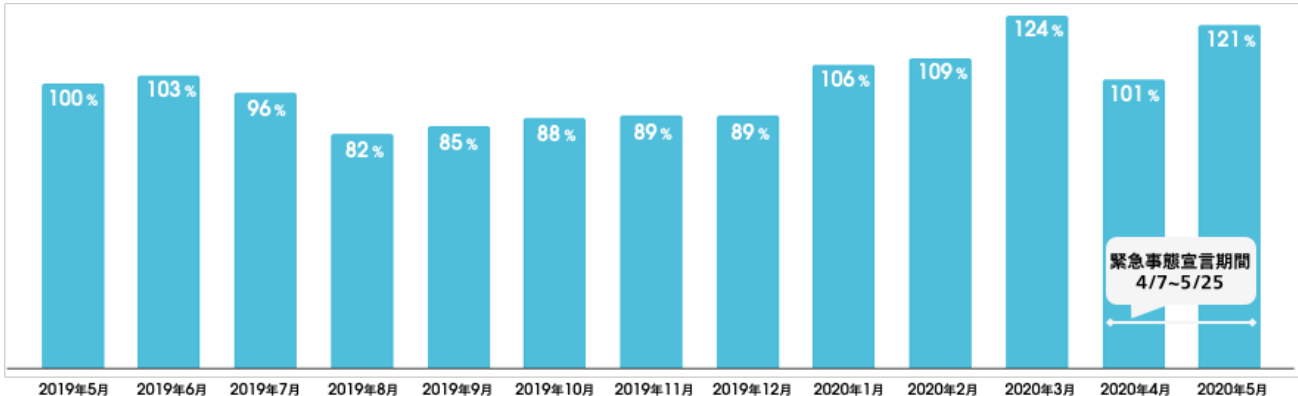
月次エントリー数



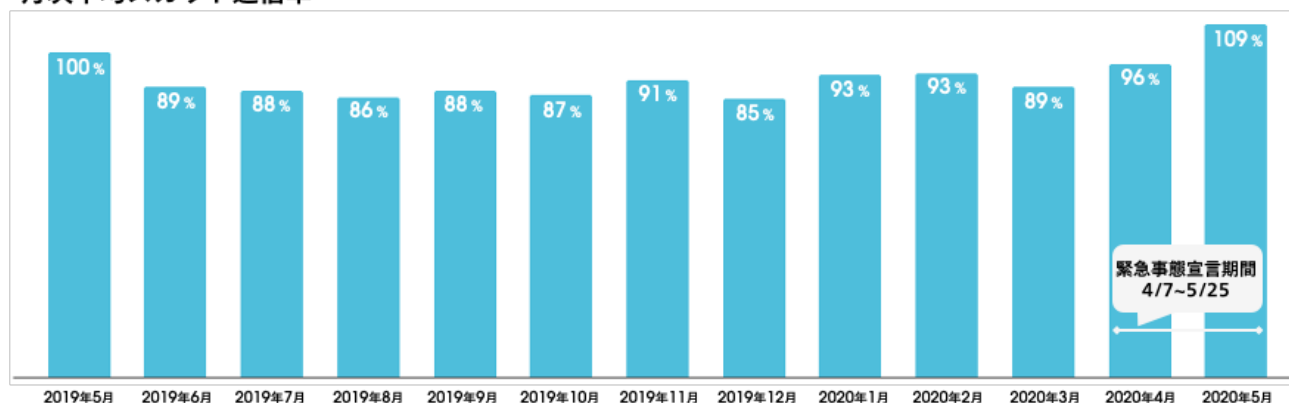
職種別エントリー数伸び比率 (2020年1月次から同年5月次の増大比率)



月次ユーザー登録数



月次平均スカウト返信率



新型コロナウイルスの感染が拡大する中でも Wantedly ユーザーのアクティブさの減少がほとんど確認されなかった要因の一つとしては、企業がオンライン面談に対応しているかを判断できる「オンライン面談 OK バッジ」を 2020 年 2 月にリリースし、個人ユーザーが安心してエントリーすることが出来るようになったと考えられます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で在宅勤務が普及し、居住環境や携わっている仕事見直しや、空き時間を活用した副業に対する意識の高まりが、地方企業による副業関連募集掲載数やそれに対するエントリー数の増大に寄与したのではないかと想定されます。

ウォンテッドリーは、企業の認知形成、共感を軸とした人と企業の出会いの創出を提供しながら、入社後の従業員の定着、活躍を支援するエンゲージメント事業を推進することで、Wantedly が「はたらくすべての人のインフラ」となるような世界を目指してまいります。

ウォンテッドリーについて

ウォンテッドリーは、『シゴトでココロオドルひとをふやす』ために、はたらくすべての人が共感を通じて「であい」「つながり」「つながりを深める」ためのビジネス SNS「Wantedly」を提供しています。2012 年 2 月のサービス公式リリースから現在まで、登録会社数 35,000 社、個人ユーザー数 240 万人を突破し、国境を越えて『はたらくすべての人のインフラ』を創っていきます。

<会社概要>

会社名 : ウォンテッドリー株式会社
 URL : <https://www.wantedly.com>
 本社所在地 : 東京都港区白金台 5-12-7 MG 白金台ビル 4F
 代表取締役 : 仲 暁子
 設立 : 2010 年 9 月
 事業概要 :

240 万人以上が利用するビジネス SNS「Wantedly」

- 会社訪問アプリ「Wantedly Visit」
- つながり管理アプリ「Wantedly People」

ビジネス向け

- 採用マーケティング
- エンゲージメント Suite